



令和3年11月22日 雲雀丘学園幼稚園

いよいよ冬本番の寒さになってきました。「寒い、寒い」と部屋にこもるよりも、外で体を動かすといいですね。ぽかぽかと体が温まると、かぜに対抗する体の力が強くなります。年末の忙しい時期ですので、お手伝いや大掃除で体を動かすのもいいですね。

インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症も流行する時期になりました。また、通常夏場にピークを迎える手足口病が、季節外れの流行をしています。本園では、いずれもまだ流行の兆しはありませんが、食事・睡眠・運動などの規則正しい生活習慣や、手洗い・うがい、マスクの着用などが予防につながります。2学期も残り1ヶ月。冬を元気に過ごしてくださいね。



<冬に流行しやすい感染症>



インフルエンザ



感染性胃腸炎



RSウイルス感染症

先月もお伝えしたとおり、昨年度はインフルエンザの感染者が全国的にもきわめて少なく、流行は起こりませんでした。警戒すべき感染症であることには変わりはありません。お子様がインフルエンザに感染・発症した場合の出席停止基準について、あらためてご確認をお願いします。

学校保健安全法では幼児の場合、「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで」出席停止とされており、以下の表のようまとめることができます。必ず医師の診察を受け、指示に従ってください。なお、「登園可」となってもお子様の回復の様子などを十分に考慮し、必要に応じて医師ともご相談の上、登園の可否を判断いただければと思います。

【参照】色のついた期間が出席停止期間となります。

発症日(0日)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症	解熱					登園可		
		解熱				登園可		
			解熱				登園可	
				解熱				登園可

※発症日(発熱した日), 解熱した日をそれぞれ0日として数えます。

新型コロナウイルスはどれくらい生きる?



新型コロナウイルスは、感染した人のくしゃみやせきと一緒に口から飛び出します。

ねらいは別の人の口や鼻から体の中に入ること。でもマスクをしている人ばかりだと、うまくいきません。

ウイルスの次のねらいは手につくこと。いろいろなところで、その機会をねらっています。

ウイルスの生存時間

空気中	ボール紙の表面	プラスチック・ステンレスの表面
3時間	24時間	48~72時間

そんなウイルスを数10秒で消滅させる方法があります。それが手洗い。

石けんで10秒もみ洗い  
流水で15秒すすぐ  
2回くりかえす



お知らせ

体操服・スモック・靴下など、幼稚園でお貸したものの返却がまだの場合は、すみやかにご返却ください。よろしくお願いいたします。

## <嘔吐物・排泄物の処理方法>

冬に気をつけたい感染症の一つに、感染性胃腸炎があります。感染者の嘔吐物や排泄物から出たウイルスに触れたり、手を介して食品から口の中へ取り込まれたり、また、空気中に漂うウイルスが直接体内に入ったりすることで二次感染をおこします。二次感染を防ぐためには、嘔吐物などを適正に処理をして感染拡大を防ぐことが大切です。参考にしてください。

### ①準備

マスク、使い捨て手袋、白衣やエプロンなどを着用してウイルスに触れないようにします。使い捨て手袋は、二重にしておくで汚染処理と消毒とに用途が分けられます。



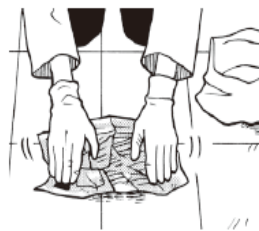
### ②覆う

嘔吐物を新聞紙で覆い、嘔吐物の拡散を防ぎます。新聞紙の上から1000ppmの次亜塩素酸ナトリウム液(500mlの水に市販の塩素系漂白剤10ml(キャップ2杯分)で約1000ppmになります。)をかけて、5~10分ぐらい浸します。また窓を開けて、換気しながら行います。



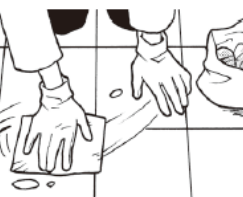
### ③処分

覆った新聞紙を端から中心に向かってふき取ります。一度ふき取ったものはビニール袋に入れて、残りは別の新聞紙でふき取ります。この時同じ面ばかりでふき取ると汚染物質を拡げてしまうので、折り込んで別の面でふき取ります。



### ④消毒

嘔吐物をきれいにふき取った後、200ppmの次亜塩素酸ナトリウム液でふいて消毒をします。先ほどの1000ppmの溶液を5倍に薄めると200ppmになります。ふき取りも使い捨てのペーパータオルを使うとそのまま処分できます。



### ⑤手洗い

消毒後の後始末をして、手袋も処分します。ノロウイルスは手のしわの中にも入りこむので、石鹸を十分に泡立て手の平や甲、指先や指の間など念入りに洗います。また、うがいも念入りにしましょう。



今回は新聞紙で紹介をしましたが、ペーパータオルなどでも構いません。ウイルスが飛散しないように、覆うことが大切です。

## 予防にはなんといっても手洗いです

ノロウイルスに限らず、ウイルスを手につけないためには、石鹸でよく洗い、清潔な手ふきを使うことが大切です。トイレの後、食事の前、外から帰った時、調理の前と後など、忘れずに手を洗いましょう。

